



萌木

11月



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和6年11月19日発行

～自尊・立志・感動～

共に集い関わることを通しての成長

校長 山田 勝

10月の合唱コンクールから1か月ほど経ちました。多数の保護者の皆様にご参観いただきました。また、PTAの皆様にも受付・案内等お手伝いいただきました。ありがとうございました。行事、今回は合唱を完成させることを目指して生徒たちはクラスで協力し取り組んできました。その成果をグリーンホールという環境の整った舞台上で披露する機会が、合唱コンクールです。その成果、合唱の受け取り手として保護者の皆様にも環境づくりにご協力いただきました。

生徒たちには、合唱練習に取り組み、環境の整ったホールで披露できたことを通しどのような成長ができたのか、次にどのような成長につなげてほしいのかということ、全校朝礼で話しました。

【前略】合唱コンクールでは、どの学年もこの半年での成長、個人としてもクラスとしても、どのように成長したのかを見せられました。

1年生は姿勢や目つきも中学生らしくなり、取り組むべきことに取り組もうという姿勢を持てるようになってきたと思います。

2年生は自分が頑張るとともにクラスの仲間と協力して進むことと、その楽しさに向かって取り組む姿勢をみせてくれました。

そして3年生からはクラスの仲間と協力し、自分のやるべきことをふれずに取り組みきる姿勢に成長を感じました。

皆さんそれぞれの成長は、一人一人の努力によるものでもありますが、その成長を遂げた背景には共に頑張ってきたクラスや学年の仲間の姿や、来年はこうなりたいと背中で成長の方向を示してくれた上級生の姿があったはずで

す。2学期後半の取り組みは、期末考査であったり、面談であったり、個人で自分の内側を見て取り組むものですが、その取り組みを進めているときも、少し視線を上げて周りを見渡せば、同じように取り組んでいる、同じように頑張っている仲間の姿があなたの近くにあるはずで

す。今、共にそこにいなくとも、一人で勉強に取り組んでいるときにも、仲間の温かさや熱意を感じ、自分も頑張ろうという力に変換できる、そのような力を勝ち取ることが、学校、七中でそこに集まって仲間とともに学んでいる大きな意味の一つかもしれません。

同じ方向を向いて頑張っている仲間がいる、そう言えることが不安に打ち勝つ自信につながるのだと思います。仲間と一緒に活動で得た自信を一人で取り組む活動に生かすことができれば、さらに成長を進めていけます。みなさんは、そのきっかけをつかんでいます。その仲間とのつながり・絆を自分の自信に変換する場面として、期末考査に向けての学習などの活動に取り組んでいきましょう。

コロナ禍を経て、当たり前のように獲得することができていたであろう「共に集まり関わり合うことで得る力」である「目標達成に向けて頑張る力」を大きな価値として改めて位置付けたいと思います。

グリーンホールという会場で保護者の皆様にも合唱を披露するのにお手伝いいただきありがとうございましたと前段でもお伝えしました。最近のニュース等で、授業参観時に廊下で騒がしくする参観者がいたり体育祭での横柄な態度の参観者がいたりする、などの記事を目にしたことがあります。本校におきましては合唱コンクールをはじめ様々な場面で、参観いただく以上にその場の生徒たちの成長に向けた活動にご協力いただいております。大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願いたします。